

西覚寺だより

第三号

二月・六月・十一月
年三回発刊予定

親鸞聖人 報恩講法要

● 日 日 十一月二十五日(日)

● 午前 十時半 ～

・お勤め 正信念仏偈作法 御伝鈔拝読

・ご法話 恩徳讃唱和

※ 御齋振舞 正午十二時 ～ 午後一時

● 午後 一時 ～

・お勤め 正信偈(草譜) 六首引き 御伝鈔拝読

・ご法話(休憩あり・二席) 恩徳讃唱和

● 御講師 松林尚真師(滋賀県・本願寺派布教使)

松林先生は、住職の仏教学院時代の同級生
ではありますが、人生の上では大先輩です。

オルガンを弾きながら、歌を交えて、

阿弥陀さまのことをお取次ぎ下さいます。

いつもとひと味もふた味も違うご法話を、

ぜひ、お聴聞させて頂きましよう。

● 持ち物 経本(正信偈が載っている)、お念珠、

門徒式章(お持ちの方)、御仏前

報恩講について

「報恩講」と聞いて、ピンとこない方もいらっしゃるかと思いますが、「報恩講」は私たち浄土真宗の門徒にとって、最も大切な法要です。

報恩講とは、浄土真宗の教えを開き、私たちが救われる道、阿弥陀さまのお救いを説いてくださった、浄土真宗の宗祖「親鸞聖人」のご苦勞を偲び、親鸞聖人の御命日をご縁に営まれる法要です。親鸞聖人が教えを残してくださるなければ、私たちは阿弥陀さまのお救い、「南無阿弥陀仏」のお念仏に出遇うことはなかつたでしょう。それは、もちろん私たちだけではなく、私たちの多くの御先祖の方も同様です。「南無阿弥陀仏」に出遇うことがなければ、私たちや私たちの御先祖も、永遠に苦しみの世界を迷い続けることでしょう。その苦しみの輪廻から解放されえるみ教えこそ、「南無阿弥陀仏」



なのです。この「南無阿弥陀仏」の教えを残してくださった、親鸞聖人のご恩に感謝し、

阿弥陀さまのお心を仰ぎつつ、お念仏申す人生を歩むのが、私たち浄土真宗ですので、その親鸞聖人の報恩講は、私たち門徒にとって、とても大切な法要なのです。みなさま、この機会にぜひお参り下さい。

そして、お寺での報恩講を機に、各ご家庭でも僧侶をよんで、「報恩講」をお勤めする風習があります。

「お引き上げ」とか「ご引上」といったりします。お寺によっては、全門徒さまのお宅をまわったりと、お盆よりも忙しくされるところもあるようです。みなさまもよろしければ、お勤めされてみませんか？お気軽に
ご依頼ください。

(参考：浄土真宗 仏事のイロハ)



▼初参式&小学校入学祝いの会

のご案内

- ・日程 2019年6月2日(日)
 - ・時間 午後2時～(30分程)
 - ・場所 西覚寺 本堂
 - ・定員 先着12組程度
 - ・費用 御仏前(2千円)
 - ・申込 西覚寺まで(要予約)
- 「ご参加された方には記念品(お念珠や本)があります。



私たち夫婦にも昨年、娘が生まれましたが、そんな最愛の我が子にとっての、人生はじめての仏縁、つまり阿弥陀さまにご挨拶させていただく機会を、「初参式」といいます。神社へお宮参りをされる方は多いですが、お寺にお参りに来られる方は少ないのが現状です。

そこで、西覚寺では、来年より皆さま合同での「初参式」を行います。併せて、小学校入学のお祝いの会もします。「ご誕生から小学生未満のお子様は、「初参式」として。2019年度に小学校入学されるお子様は、「入学祝いの会」。お子様やお孫様で該当の方がいらっしゃいましたら、お誘いあわせの上、



どうぞ「ご参加ください。基本的には、西覚寺に「縁のある」家族の方優先となります。皆さまの「ご参加をお待ちします！」

▽西覚寺 今後の予定

- 十一月十二日(月) 午前十時半～
ヨガ教室(初心者・高齢者向け)
- 十一月十三日(火) 午前十時半～
ヨガ教室(中級・経験者向け)
- 十一月二十二日(木) 午前九時～
報恩講に向けて、本堂・庫裏の大掃除
(お手伝いして頂ける方、お待ちしております。)
- 十一月二十五日(日) 午前十時半～・午後一時～
親鸞聖人 報恩講法要
- 十二月二日(日) 午後二時半～
正信偈に学ぶ会
- 十二月十日(月) 午前十時半～
ヨガ教室(初心者・高齢者向け)
- 十二月十一日(火) 午前十時半～
ヨガ教室(中級・経験者向け)
- 十二月二十三日(日) 午後二時半～
茶楽会(お仏壇の仏花の生け方)
- 一月六日(日) 午後二時半～
正信偈に学ぶ会

いずれの会も、みなさまお気軽の「ご参加ください。」

お待ちしております！

◆住職の一言コーナー◆

娘の名前について。続き。娘の名前は「相(そう)」です。「相」という漢字を、仏教では「すがた」と読むことがあります。そこから「自分のすがた」・「我が身」を省みることのできる子に育ってほしい、という願いも込めました。もちろん外見だけではなく、自らの心をつめることが大切です。

私たちはひとりで生きてはいけません。相手と寄りあいながら、生きていくのですから、自身の相(すがた)を省みつつ、決して独り善がりにならずに、他者(相手)のことを大切にできる、相談相手にもなれる、そんな人に育ってほしい。そんなことを考えながら、連れ合いと相談して、娘の名前は、「相」と名付けました。



浄土真宗本願寺派

西覚寺

安城市朝日町12-8

☎0566-76-3594

http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/